

薬品の発売は国内初になる見通しだ。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 2003年 | 米オサイリス・セラピューティクスとライセンス契約 |
| 11年 | 国内で第2、3相臨床試験(治験)を開始 |
| 12年5月 | オサイリス社が世界で初めてカナダで細胞医薬品の販売承認を取得 |
| 11月 | JCRが第2、3相治験で25例目の患者に投与開始 |
| 13年 | 年末までに臨床試験を完了 |
| 14年 | 年内に日本で承認申請 |
| 15年 | 発売 |

(注)13年以降はJCRの目標

細胞医薬品は健常者の骨髄から骨や脂肪、筋肉などの細胞のもととなる幹細胞を取り出し、培養

▼細胞医薬品 健常者の細胞を培養して作る医薬品。細胞そのものを投与することで、骨髄移植後の重病など免疫に関する病気の治療に活用することが期待されている。

病気(急性移植片対宿主病)の治療に使う。

現在は、症状が重度の患者を対象とする第2、3相臨床試験を進めている

細胞を培養し凍結すれば保存可能だが、生産には高い培養技術や品質管理技術が求められる。免疫関連の治療のほか、再生医療分野にも活用できる可能性を持つ。

日新薬品、神戸で生産

設備導入 研究開発拠点を活用

【大津】一般用医薬品(大衆薬)メーカーの日新薬品工業(滋賀県甲賀市)は生産体制を増強する。主力であるトローチの生産能力が逼迫していることなどに対応する。研究開発拠点の「神戸R&Dセンター」(神戸市)でも生産体制を整え、来年以降は本社工場との2拠点体制にする計画だ。生産設備は2段階で整備する計画。まずビタミン

ン剤やグルコサミンなどの健康食品を製造できる。2013年2月には工事を完了する計画。当面は神戸R&Dセンターのうち延べ900平方メートルのエリアに、製造施設と製品倉庫を新設する。総投資額は2億円を見込む。

さらに2年後をメドに主力製品であるトローチ剤の製造ラインも設置する。製薬会社やドラッグ

ストアからの需要が拡大しており、年間8000万錠を生産する本社工場

を補完、増強する拠点として活用する考えだ。神戸R&Dセンターは10年8月に買収した医薬ベンチャー企業の本拠点をベースに、12年1月に研究開発拠点として開設。一般用医薬品製剤の研究にあたっていた。

非連結子会社を解

ニチイ学館、音声認

ニチイ学館は16日、2013年1月に非連結子会社を解散すると発表した。音声をふき込むとテキストに変換できる音声認識技術を活用し、病院における医師のカルテ作成作業を効率化するシステムを提供することを目指していたが、本格運用